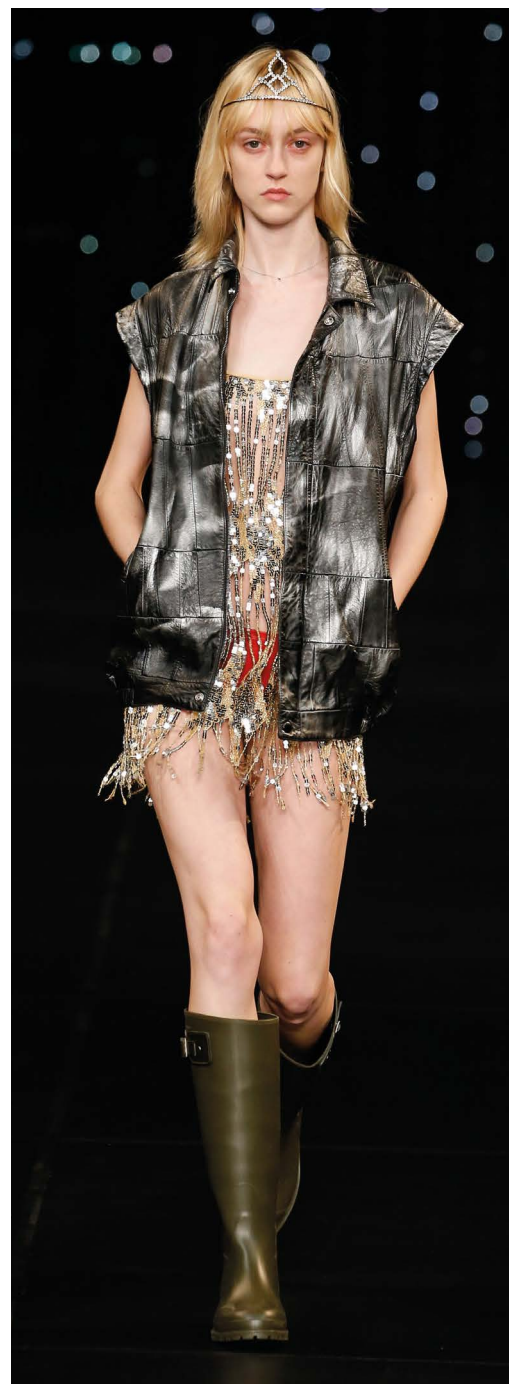




Saint Laurent



Paul & Joe



Saint Laurent

この夏、主要デザイナーたちは、ラメやグリッター、スパンコールやサテンなどを用いてキャットウォークに輝きを添えた。前シーズンがゴールドづくしでしたら、今回はシルバーが主役。エディ・スリマンがチーフデザイナーに就任して以来、ロックなシルエットがブランドのシグネチャーの**サンローラン**では、セクシーなシルバーのドレスを軽量の甲冑のようにまとい、ティアラとレインブーツでコーディネートしたグランジのプリンセスが登場した。

セバスチャン・メイヤーとアルノー・ヴァイヤンによる**クレージュ**では、レトロフューチャーな新しいクリエイションが登場。ブランドの“眠れる森の美女”を彷彿とさせるのに最適な色であるコズミックシルバーが用いられていた。これは、クレージュのキャットウォークでの復活を印象づけただけでなく、ブランドを次の次元へと引き上げた内容だった。パリの

グラン・パレを文字通り空港へと変身させ、見事に離陸した、カールラガーフェルドによる**シャネル**のショーでは、銀色に発光するアクセサリが目撃された。**モンクレール ガム ルージュ**では、鮮やかな色彩でロマンティックなひねりを利かせ、**ジャンパティスタ ヴァリ**では、花柄のドレスを纏ったモデルが、フェンシングのマスクを脇に抱えて登場した。**フィリップ・ブレイン**では、メタリックシルバーがトータルルックで登場し、さらにメタリックなステージセットと併せて光の遊びを楽しんでいた。

このトレンドは、**ポール & ジョー**や**イザベル マラン**でも見られ、スカートやショートパンツ、トラウザーのようなセパレートピースと白いシャツやトップスとの組み合わせや、シルバーのジャケットとトラウザーの組み合わせが披露された。このトレンドは、人の目を惹き付け、どんな場面においてもシックであるための完璧な方法を提案している。